



ふるさと水土里の探検隊事業に参加！

経営学科 西 宏樹准教授ゼミ生



経営学科の西宏樹准教授のゼミ生が11月7日、「ふるさと水土里の探検隊事業」に参加しました。この事業は本学が県庁・市役所・土地改良事業団体連合会等と連携し、地域活性化に向け、街の現状や課題を共有することを目的に毎年実施。今回は鹿児島市の四元地区で街歩きを行い、地域の現状を確認した後、ワークショップで探検マップを作成し、地域の強みと弱みについて地元住民を交えたディスカッションを行いました。

西准教授は「四元地区はお茶の生産が盛んなところで、漫画界の巨匠である鳥山明先生が描かれたご当地キャラクターもある。こうした魅力を活かした活性化策について、マーケティングの視点から考えていきたい」と述べています。

最終報告会は1月9日に行われる予定です。

防災や災害時の対応について学ぶ

鹿児島市との連携事業



防災や災害時の対応について学ぶ鹿児島市の出張講義が10月に学内で行われ、経済学科の日野一成准教授「リスクマネジメント論」と児童学科の帖佐尚人准教授「教育相談」の授業で約200名が受講しました。本事業は鹿児島市と本学の連携協定に基づくもので、若い世代への防災教育を目的に、鹿児島市地域福祉課の山内博之氏が話しました。

山内氏は近年頻発する災害の事例をもとに、いつ起こるかわからない災害に日頃から備えておくこと、防災意識をもち、対応力を身に付けておくことの大切さを伝えました。

受講学生からは「災害の経験はないが、日頃の備えがいかに大切なことかを考えさせられた」といった感想が聞かれました。

都城市立図書館でコンセプトや空間プロデュースを学ぶ

国際文化学科 新入生ゼミナール



国際文化学科1年生21名が10月24日、都城市立図書館で初めてのフィールドワークを行いました。学生は事前学習でグループごとに課題を設定し、質問事項を準備して参加。

都城市立図書館の前田副館長から図書館の案内と丁寧な説明後、活発な質疑応答がなされました。

同館は先駆的な図書館経営で全国の注目を集めており、企画した岩下雅子准教授は「経営のコンセプトや空間プロデュースを学ぶことで、発想力、企画力、総合力を培うことの大切さを感じてもらえたのではないかと話し、学生からは「誰もが安心して利用できるよう配慮されている」「カフェでは地元の食材を使い、地域活性化にもつながっている」などの感想が寄せられました。

学生考案の「秋を彩る柚子みそ弁当」販売会を開催

経営学科 中西 孝平 准教授ゼミ生



経営学科の中西孝平准教授のゼミでは、地域教育の一環で食育プロジェクトに取り組んでおり、学生自ら考案した「秋を

彩る柚子みそ弁当」の販売会を学内外で開催しました。

このお弁当は中西ゼミの2年生12名が、地元企業の「Y'sキッチン」と共同開発したもので、ごま塩と炊き込みごはんのおにぎりのほか、鹿児島の麦みそでできた柚子みそを使用したつくねやサトイモが入ったアイデア満載のお弁当です。学内外とも約1時間で予定販売数を完売しました。

今回の販売会には高大連携事業として、県立市来農芸高校3年生も参加し、中西ゼミ生と一緒に販売促進活動に取り組みました。